

☹️ 統一地方選

「こんな時に選挙じゃないでしょう！」そういう声も耳にします。僕も最初はそういう気持ちがありました。しかし、実際に東北に行ってみて・・・それは違う!」と思ったのです。東北の被災地では本当に選挙どころではありません。学校へ行きたくても行けない子ども達もいます。働きたくても働けない人達が山ほどいるのです。僕らは幸せです。仕事ができるし、住む家もあります。家族もみんな揃っています。子ども達は毎日学校へ行き、学ぶことができます。そして、僕達は選挙もできるのです。選挙ができるのに、そんな気分じゃないというのはおかしい。選挙ができるという幸せをかみ締めて、選挙に燃える。それが一番大事なことなんだ。そう思うようになったのです。



横浜市議会選挙では友だちの応援に行きました。鶴見の駅前で大声で叫んで・・・当選しました!

☹️ 完全無所属

僕が応援するのは完全無所属ばかりです。もう既成政党には期待しません。自分の頭でものを考えられる人が議会にいないと、地方議会の存在価値がなくなると僕は思っています。何でも市長のいいなりでは、議会などいりません。(市長提出議案が全部駄目だと言っているのではありませんよ。100%賛成はないでしょうと言っているのです。)議員定数削減で組織票のない本当の無所属は議席の獲得は厳しくなっています。そうすると組織の後押しのある候補だけが当選していく。僕らには組織の応援がありません。(ないから自由にものが言えます。)あるのは、市民のみなさんの応援だけ。だからこそ、完全無所属で頑張りたいのです。



写真は相馬市内の避難所で現状と課題を確認している田中幸弘(左)と中山(隣)さんです。僕達は市の職員でも、県の職員でもなくボランティアの若者達から情報を得ました。市の職員も、県の職員も避難所の実態を知らなかったからです。市と県の職員は交代制で現状を掴んでいませんでした。一方ボランティアの若者達は24時間、避難所に張り付いているので、避難者達に今、何が一番必要なのか、よく理解していました。この野菜不足も深刻で、巡回していたお医者さんからも「食事の改善」を求められていました。我々のチームは福島県の南相馬市、相馬市、そして宮城県の石巻市、女川町などに支援物資を運び、炊き出しをし、泥かきをしてきました。そして、これからも継続的に支援していくことにしています。東北各地に全国から集まった、熱い人達がボランティア活動しています。彼らを市の臨時職員として雇い、権限と責任を与えてボランティア活動をより機能させていくことが大事だと思います。そういう人件費にも義援金を当てたいものです。

☹️ そして消費税

菅政権はこの震災復興をきっかけに、消費税増税を狙っています。消費税がいかにも不公平な税で、中小零細企業には厳しい税であるのか、何度も書いてきました。そして輸出大企業にとっては、濡れ手に粟のおいしい税であることも書いてきました。消費税が上がれば、更に非正規雇用が増えていく仕組みも書いてきました。痛んでいる人を助けるのに、苦しんでいる人達から税を雀取り取る。それが消費税の恐さです。このことを是非忘れないでください。騙されないでください。